



# 学指通信

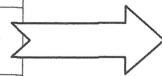
研修会：「班ノートはまわっていますか？」より

## 班ノートの意義



三位一体： 班を基礎とした集団づくりのためにも

生活指導三位一体			
生 指 事 象	秩序	事務的・無機質な対応 見えないルールを作らない	公共性の壁の堅持 特別扱いを見せない
	接点	共感的な対応 足でかせぐ(家庭訪問・別室)	親と子をつなぐ
	集団	待ちの対応(←入れ込み) 生指のオープン化	班(学級)につなぐ 生指はチャンス



集団づくりとは・・・

## 思いをつなぎ クラスの「力」にすること

班ノートは Must Do ではありません。集団づくりをすすめるための1つのツールです。しかし、班ノートは、他の方法ではかなわない、子供をつなぐベースづくりの有力な手段になり得ます。班ノートの利点として、例えば、

- ・日常が拾える
- ・生徒から発信している
- ・「思い」「本音」を掘り起こせる etc. が考えられます。

ほんのちょっとした言葉(本音が見え隠れする言葉)を見逃さず、先生の思いを添えてクラスに返していきましょう。その方法としては、① STで話をする(クラスのハットちゃんと同じ発想です) ② 通信を使う(研修会では、「班ノート」と「通信」は両輪、という言葉で説明がありました。) などです。

How to do は 先輩の先生方から教えていただけますが、「子供観」は自分で学びとるものです。失敗や成功を繰り返しながら、「自分を語り、仲間を語る」班ノートに近づけていってください。

清水先生の宝物、「保護者ノート」(班ノートの保護者バージョン)の紹介がありました。「足でかせぐ」ならぬ「ペンでかせぐ」"接点"づくりの実践として、興味深いものでした。詳しくは清水先生まで。

